

平成28年度自己評価結果

あさま幼稚園

1. 本園の教育目標

園児一人ひとりにゆきとどいた保育をおこない「明朗闊達で感性豊かな子ども」を育てること

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼児の健康な体と心を育む(子どもが自分の思いを表現できる保育をするために)

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
幼稚園の教育目標と重点目標の周知	B	園の教育目標を園だよりにして載せたり、保護者集会などで園長が説明をし、周知をはかる。
危機管理体制の整備	B	危機管理マニュアルを作成して年に数回、火災・地震・不審者訓練を行っている。
家庭、地域、関係機関への情報発信	A	園だより学級だより、ホームページにて園の様子を伝えている。
教育課程の編成・実施の考え方についての教職員間の共通理解	A	毎年指導計画を見直し、子どもの実態に即した内容にするよう努めている。
発達段階に則した適切な幼児理解・環境	B	各クラスで月・週案を作成、一日の終わりに一人ひとりの保育日誌に記入、子どもの実態を把握し、次に繋げている。
幼稚園と小学校との円滑な連携	B	小学校の先生方の保育参観、近隣の小学校との交流会を通して、幼稚園の様子、小学校の教育内容について理解を深める。
教員の資質向上、研究・研修の充実	A	各種研修や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会等において提供し、全職員が今後の保育に生かしている。月1回の園内研修においてさらなる充実した保育を目指している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	取り組むべき課題について、全職員がさらに共通理解し、各自適切に自己点検・自己評価に取り組んでいきたい。今後も自らの保育を振り返り、子どもにより添いながら保育を行う。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
遊びの質	自分で考え、自信を持って動ける子にするための環境設定や言葉掛け
職員の資質向上	各種の研修に参加したり園内研修を行うことにより、さらなる教員の質の向上を目指す

6. 学校関係者の評価

特に指摘する事項はなく妥当であると認められます。
良好な幼稚園運営がなされていると思う。

3.4の評価結果基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組みが不十分である